

編集後記：今年の7月から大阪に単身赴任中です。24年間の東京勤務から、はじめて東京以外での勤務になりました。また首都圏以外で生活すること自体が初めての経験で、赴任前は気候や水が合わないのではなどの不安も多少ありましたが、いざ生活し始めると早々に順応してしまうものです。関西は美味しいものが多いので体重増加が心配です。

さて、この編集後記は暑さがまだまだ続いている8月下旬に執筆しています。はじめて経験する大阪の夏は評判どおりの暑さでしたが、最高気温35度以上の猛暑日日数が8月として過去最多となり、いきなり暑さの洗礼を受けました。東京の夏は、暑さが長く続くことは稀ですし、一時的に北東気流で涼しい日が現れて、涼しさで身体が休まる日がありますが、大阪の暑さは昼も夜も容赦がないという印象です。大阪の市街地は緑が意外と少なく、どこに行っても熱のこもったところから逃れることができません。涼を求めるなら水辺と思い、淀川の河川敷に行っても日差しをさえぎ

るものは少なく、道頓堀川では水上バスに乗船してみました。水面を吹く風は熱風でしたし、「暑さに参りました！」の一言です。

一方で、今年の夏は深夜にリオデジャネイロ五輪をテレビ観戦し、数々の熱戦に感動しました。4年後の東京五輪が楽しみです。夏季開催での暑さ対策が気になるところです。熱中症というコトバが世の中にすっかり浸透し、生活、仕事、スポーツ、レジャーなどあらゆる場面で具体的な熱中症対策を呼びかけるようになりました。私も休日には子供たちに剣道を教えている立場から熱中症には細心の注意を払っています。熱中症予防に対して、さらに多くの方々に関心を持ってもらいたいと思っています。これから秋、冬に向かい熱中症は一段落しますが、次の夏さらには4年後の夏の東京五輪に向けて、熱中症対策の検討に途切れる間はありせん。

(田口晶彦)